



日野郡広域景観形成行動計画

この先の時代に日野郡らしい景観をつなぎ
より多くの人々が訪れつどう地域へ

令和8年3月

日南町・日野町・江府町
(鳥取県日野郡連携会議)

目次

1	はじめに	
(1)	行動計画の策定目的	2
(2)	行動計画の位置づけ	2
(3)	行動計画の対象地域	2
2	日野郡における景観特性等	
(1)	概況	3
(2)	主な景観資源、ビューポイント及び滞留拠点	6
(3)	景観形成における現状と課題	11
3	景観形成に係る取組方針及び内容	
(1)	景観形成の取組コンセプト	14
(2)	景観形成におけるコンセプトカラー	14
(3)	道路・サイクリングルート沿道	15
(4)	屋外広告物	16
(5)	建築物・まちなみ・農村景観	18
(6)	景観資源及びビューポイント	19
(7)	滞留拠点	19
4	行動計画	
(1)	推進体制	20
(2)	取組スケジュール	20
(3)	住民・民間団体等の取組誘導及び支援	21
(4)	広報及び情報発信等	21

1 はじめに

(1) 行動計画の策定目的

日南町、日野町及び江府町（以下「日野郡3町」という。）をつなぐ一級河川・日野川や、日野川の沿川を走る国道181号、180号及び183号を軸に設定された「日野郡サイクリングルート（令和7年3月）（日南町・日野町・江府町（鳥取県日野郡連携会議）」の周辺には、四季折々の美しい自然景観や田園景観、地域で育まれた生活や生業とともにある集落・民家等の景観資源が多数存在する。

本計画では、これらの景観資源を整理し、保全し、磨き上げ、更なる活用を図ることによって、日野郡の交流人口の拡大や更なる地域活性化に繋げていくため、日野郡3町による景観形成に係る行動を計画として定め、日野郡3町及び県の関係機関と連携して実行し、住民理解を広げながら取組の拡大を図っていくことを目的とする。

(2) 行動計画の位置づけ

本計画は、日野郡3町が取るべき景観形成に係る行動を任意に定めるものであり、景観法、鳥取県景観形成条例、鳥取県景観計画等の景観に関する法令等に基づくものではなく、住民等の行為を規制・制限する性質のものではない。

日野郡3町は、本行動計画に基づき県の関係機関等と連携して景観の向上に努めるものとし、進捗状況等に応じて内容・スケジュール等の必要な見直しを行いながら着実に実行していくものとする。

(3) 行動計画の対象地域

本計画は、日野川、「日野郡サイクリングルート」や「大山時間*」などで設定された日野郡内のサイクリングルートの周辺及び町内観光スポットとこれらを繋ぐ道路の周辺を対象とするほか、計画の目的達成のため一体的に取り組むことが効果的と考えられる景観資源等が存する地域も対象とする。

※大山時間…鳥取県西部地域の魅力を域内外に発信するプロジェクト。「サイクリスト聖地化事業」として、サイクルツーリズムを通じた誘客促進や地域経済の活性化に取り組んでいる。



日野郡内のサイクリングルート

日野郡サイクリングルート	日南町	日野町	江府町
——	——	——	——

2 日野郡における景観特性等

(1) 概況

ア 自然・地形

日野郡は、鳥取県の南西部に位置し、南側は中国山地の背稜部にあたり、1,000m級の山々を介して西は島根県、南は広島県、南東は岡山県に接しており、総土地面積 59,946ha のうち約 88%を森林及び原野が占めている。

鳥取県 3 大河川の一つである日野川は、日南町の三国山(標高 1,004m)に源を発し、東北東に向かって流れ、大山の麓にある江府町において北北西に流路を変えている。各町においては、谷間から大小の河川が合流し、日本海へと続く流れをなしている。

日野川は四季折々の雄大な自然景観を有し、中でも、谷幅が最も狭まる日野町の寝覚峡では浸食地形と水流の造形美が見られ、日南町の支流における石霞溪では、大小の奇岩の間を走る水流との豊かな自然のコントラストを見ることができる。

急峻な地形が多いが、日野川及びその支流を中心に集落と耕地が開けており、近世から大正の中頃まで日本古来の製鉄法「たたら製鉄」が盛んに行われ、特に日南町、日野町のエリアは奥出雲と並ぶ一大産地として「奥日野」と呼ばれた。

たたら製鉄の盛行は、日野郡の地形や景観の形成にも大きな影響を与えており、原料となる砂鉄を採取するため行われた鉄穴(かんな)流しによって切り崩された土地が耕地として利用されたほか、たたら製鉄に必要となる木炭を確保するための山地開発や、従事者の食糧確保を目的とした農地開発も盛んに行われたと考えられている。

また、江府町は中国地方最高峰の大山の南麓に位置し、「奥大山」と呼ばれる日本最大級のブナ原生林が広がる大山南壁周辺の鍵掛峠、木谷沢溪流などの景勝地があるエリアは「大山隠岐国立公園」の一部となっている。



奥日野の景観



奥大山の景観

イ 歴史・文化

現在の日野郡 3 町は、日南町が 1959 (昭和 34) 年に 5 つの町村(伯南町、高宮村、多里村、石見村、福栄村)が合併して発足、日野町も同じく 1959 年に根雨町と黒坂町が合併して発足、江府町は 1953 (昭和 28) 年に江尾町、米沢村、神奈川村が合併して発足し、翌年には日光村の一部を編入している。

日野郡では、原料となる良質な砂鉄が採れたことから、約 100 年前までたたら製鉄が営まれ、特に幕末から明治中期にかけて盛んで、安価な洋鉄の輸入が活発化されるまでの間、日本の鉄産業界と国の近代化を大いに支えた。現在でもたたら場の跡や、鉄穴流しによって切り崩された土地形状により、地域内の各所でその痕跡を見ることができる。

また、日野川の源流に位置する日南町多里地区は、江戸期の伯耆と備後・備中などを結ぶ日野往来が通り、交通の要衝に位置することから宿駅として栄えたほか、明治 20 年代後半には日本で最初にクロム鉱床が発見され、同地の若松鉱山がクロム鉱石産出量で日本一を誇ったことから、地域の繁栄に大きな影響をもたらした。

日野町の根雨地区は、江戸時代に出雲街道の主要な宿駅として栄えた宿場町で、現在も茶屋や「本陣の

門」などに宿場町の面影が残るほか、鉄山経営で財を成した近藤家は主屋に土蔵を配した二階建ての格式ある商家のたたずまいを見せ、向かいに存する出店近藤は、現在では日野町が譲り受けて「たたら楽校根雨学舎」として製鉄の歴史などを伝えている。

また、同町の黒坂地区では、近世初期の黒坂城址、陣屋跡と、当時の町割りが継承されている街路や町に点在する社寺などに歴史の足跡が残されている。

江府町の江尾地区では、大山の南麓から流れ出た船谷川が日野川に合流する付近の台地の上に戦国時代の遺構が残り、城を中心にコンパクトな町が形成された様子を見ることができる。同地の伝統的な夏祭り「十七夜」は、戦国時代に江美城の城主が孟蘭盆（うらぼん）の十七日の夜に城門を開放し、町民や農民とともに無礼講で踊り明かしたという歴史をふまえたもので、五百年に亘って続いている。

江戸時代以降には、日野往来から大山往来へ至る分岐点となるなど交通の要衝、物資輸送の要路であったことから宿場町や商店街として栄え、現在のまちなみの形成へと続いている。



都合山たたら跡



多里地区のまちなみ



近藤家主屋



江尾十七夜の様子

ウ 交通・生活

日野郡では、米子市方面から岡山県へとつながる国道180号及び181号と、広島県へとつながる国道183号が主要な幹線道路となっているほか、江府町は岡山県北部を経由して鳥取県中部・東部方面へつながる国道482号、米子市と岡山県をつなぐ中国横断自動車道岡山米子線（米子自動車道）が通過しており、江府町佐川に江府インターチェンジが設けられている。

また、1994（平成6）年には地域高規格道路として鳥取県西部圏域と広島県備北圏域を結ぶ江府三次道路が計画路線に指定され、2011（平成23）年に生山道路として日野町から日南町に至る一部区間が開通。現在は江府道路として江府町佐川から武庫に至る区間を整備しているほか、鍵掛峠道路として広島県庄原市から日南町新屋に至る区間の整備が進んでいる。

鉄道は、1928（昭和3）年に全線開通した伯備線が敷かれ、山陰地方と山陽地方を結ぶ陰陽連絡路線の一つとして、中国山地を越えて鳥取県の西部と岡山県の中部を結んでおり、日野郡においては、江府町の江尾駅から日南町の生山駅にかけて日野川沿いを走り、生山駅から先は岡山県新見市方面へと折れている。

1982年（昭和57年）には全線電化され、山陽新幹線と接続する特急やくもが岡山駅・出雲市駅間で運行されているほか、日本で数少ない定期寝台特急であるサンライズ出雲が伯備線を経由して東京駅・出雲市駅間で運行されている。

各町の駅等を発着する路線バスは児童・生徒の通学利用が中心となっているが、近年は高齢化の進展に伴い、個々の利用ニーズにあわせた移動需要が高まり、デマンドバスだけでなく、共助交通やバス・タクシーを組み合わせた町営交通など、各町が住民ニーズの変化に合わせた対応を行っている。

日野郡の人口は8,394人（2025（令和7）年9月時点（鳥取県人口移動調査））で、過去40年間では50%以上が減少し、高齢化率も5割を超えて県平均（33.7%）を大きく上回っている。社会減に関しては日野郡からの転出先の過半数は県内の他市町村で、内訳における転出人数は米子市が突出しているが、県外への転出も43%に上り、転出先の上位に隣り合う島根県、広島県、岡山県があることから、近隣地域とのつながりによる移住も含まれると推測される。

日野郡では、2015（平成27）年に3町と県が地方自治法第252条の2に基づく連携協約を締結しており、自治体間連携の枠組を設けて協働事業に取り組んでいる。協約により設置された鳥取県日野郡連携会議は日野郡3町と県で構成され、同会議を通じて各町に共通する課題の解決や、一体的で持続的に発展するための取組が進められ、事務処理の広域連携や行政サービスの維持協力など、地域の実状を踏まえた施策が展開されている。



黄金色の田んぼを走る伯備線



特急やくも

エ 観光・産業

日野郡は、大山の麓にあるブナ林等の大自然や、日野川をはじめとする大小の美しい河川のほか、歴史・文化、食などの豊かな地域資源に恵まれており、四季折々の美しい景観が楽しめるほか、古き良き日本の景観が残る田園やまちなみ、歴史を感じさせる神社や寺院などの信仰と癒しのスポットが点在し、道路及び公共交通のアクセスの良さから、米子市や近隣県を中心に多くの観光客が訪れている。

日野郡内の主要な集客施設として2つの道の駅があり、日南町の「道の駅にちなみ日野川の郷」及び江府町の「道の駅奥大山」では、それぞれ特色ある地域産品やオリジナル商品、グルメが楽しめるほか、周辺観光情報の発信拠点として認知され、多くの立ち寄り客で賑わっている。

日野町の金持神社は、全国でも名の知れた縁起の良い名前が付いた神社として、金運・開運を求めて年間20万人を超える参拝客があり、周辺の金持テラスひの、古いまちなみが残る根雨宿やオシドリを観察できる施設等も立ち寄り先として選ばれている。

また、四季折々の美しい田園景観を走行する伯備線の特急列車等は鉄道専門誌でも紹介され、多くの鉄道ファンが訪れている。

産業面では、農林業の割合が高く、特に日南町では、町全体の9割を森林が占めることから林業の就業者数が多くなっている。一方で、良質な水資源が豊富な江府町では、大手メーカーの飲料水工場など、天然水に関係した企業が多く立地していることから、製造業の割合が高くなっている。



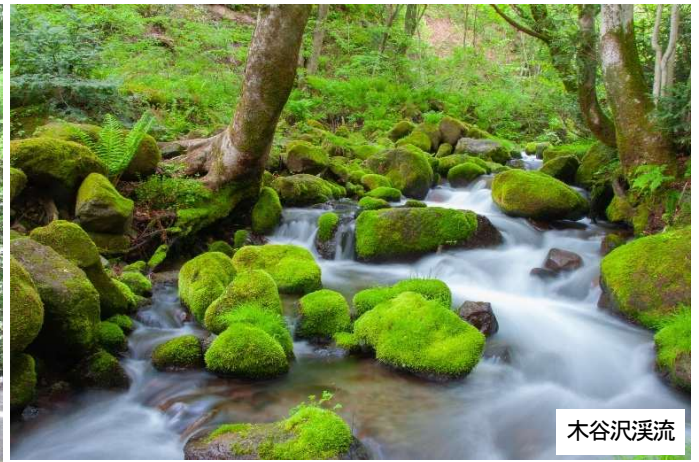
石霞溪の紅葉



道の駅にちなみ日野川の郷



金持神社



木谷沢溪流

(2) 主な景観資源、ビューポイント及び滞留拠点

日野郡における景観特性を読み解き、整理した上で今後の保全や更なる磨き上げを図るため、本計画の対象地域における特徴的な景観資源、誘客の核やシンボルとなる施設等の代表的なビューポイント及び滞留拠点を下表に掲げる。

なお、本計画においては、日野川沿いを走る道からの景観や、大山南壁などの自然景観、日野郡のそこかしこにある美しい田園や、生活とともにある集落・民家といった景観資源を含めて取組の対象とするが、ここでは一定の景観資源等として名称を挙げて整理できるもののみ掲げている。

ア 主な景観資源及びビューポイント

日南町

名称	所在地	概要
石霞溪（せっかけい）	生山	様々な奇岩や四季折々の景色が楽しめる溪谷。一般的に石霞溪と呼称されている区域は石見川にかかる南石霞溪を指す。（奥日野県立自然公園区域内）
旧日野上（ひのかみ）小学校の大イチョウ	三栄	旧小学校グラウンドにポツンと立つ樹齢約100年の大銀杏。丸い樹形で秋には葉が黄色に色づき、落ち葉で一面が黄色の絨毯のようになる。
樂樂福（ささふく）神社	宮内	創建は千百年以上前と伝わり、古くは鉄生産の祖先神として崇敬されたとされる。美しい紅葉や開運にちなんだ神社として多くの人が訪れる。
大石見（おおいわみ）神社	上石見	境内には種子が葉の表面に実る全国的に珍しい樹齢約600年のオハツキタイコイチョウ（鳥取県指定天然記念物）がある。

桜子（さくらご）峠	丸山	晩秋から初冬の早朝に条件が合えば、雲海と大山をはじめとする山々を望む幻想的な景観に出会うことができる。
-----------	----	---



旧日野上小学校の大イチョウ



大石見神社



桜子峠の雲海

日野町

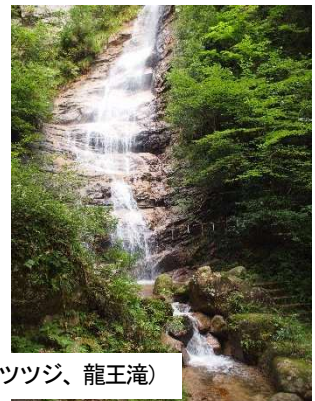
金持（かもち）神社	金持	かつて鉄の産地であったことに由来する縁起の良い名前に惹かれ多くの参拝客が訪れている。県内に1本しかないチャンチン（中国原産）など樹齢600年～700年余りの珍しい樹木がある。
根雨（ねう）宿	根雨	江戸時代に出雲街道の宿場町として栄え、たたら製鉄で財を成した近藤家の屋敷群や洋風の元銀行等かつての繁栄ぶりを今に伝える古いまちなみが残る。
日野町歴史民俗資料館（旧根雨公会堂）	根雨	前述の近藤家が1940年（昭和15年）に根雨公会堂として建設し町へ寄贈した建築物。根雨宿のまちなみを見渡せる宝仏山の中腹にある。（国登録有形文化財）
オシドリ観察小屋	根雨	秋から春先にかけて日野川へ飛来する美しい色彩のオシドリ（町及び県の鳥に指定）が見られるビューポイント。観察施設は2022年（令和4年）11月にリニューアルオープンした。
滝山（たきさん）公園	中菅	桜・ツツジの名所で、根雨のまちなみ等が一望できる。遊歩道の先に高さ35mの龍王滝があり、小泉八雲の著作では「幽霊滝」として紹介されている。（奥日野県立自然公園区域内）
黒坂カワコふれあい公園	下菅	古くから地域に伝わるカワコ（カッパ）をイメージして日野川に河川公園として整備されたもの。多様な植栽や親水施設による水辺空間の景観が楽しめるビューポイント。
明地（あけち）峠	門谷	晩秋から初冬の早朝に条件が合えば、雲海と大山をはじめとする山々を望む幻想的な景観に出会うことができる。1977年（昭和52年）に製作された映画「八つ墓村」のロケ地ともなった。



根雨宿（たたら楽校根雨楽舎）



滝山公園（桜・ツツジ、龍王滝）



江府町

鍵掛（かぎかけ）峠	大河原	大山南壁の景観が楽しめるビューポイント。手前に広がるブナ林と山肌とのコントラストが美しく、紅葉シーズンを中心に多くの観光客が訪れている。（大山隠岐国立公園区域内）
南大山観峰展望駐車場	宮市	大山の南麓を通る国道 482 号沿いにあるアーチ橋と大山南壁が作り出す景観が楽しめるビューポイント。右方には大山と稜線続きの烏ヶ山（からすがせん）を望むことができる。
木谷沢（きたにざわ）溪流	御机	溪流沿いに遊歩道があり、ブナ林に囲まれた透明度の高い水のせせらぎと、苔むした岩や石が織りなす神秘的な景観を楽しむことができる。（大山隠岐国立公園区域内）
御机（みつくえ）の茅葺小屋	御机	のどかな集落の一角に建つ茅葺き屋根の小屋を主役に、里山ならではの棚田の風景を背景に大山南壁の四季折々の景観を楽しむことができる景観資源・ビューポイント。
貝田（かいだ）の棚田	貝田	大山南壁を背景に棚田が広がり、整然とした田園景観のある開けた環境の中で電柱の無い道の先に大山を望むことができるビューポイント。



木谷沢溪流上流



大山南壁と御機の茅葺小屋

イ 滞留拠点

名称	所在地	概要
ホームランド多里（たり）	日南町多里	国道 183 号の広島県側からみて鳥取県最初の飲食店・物販施設。水車の回る和風の外観が特徴。地元でとれた農産物や加工品の販売所とレストランが併設され、手打ちそばや団子汁など特色ある様々なメニューが提供されている。
道の駅にちなみ日野川の郷	日南町生山	日南町役場付近に位置し、まちを創生するための拠点（コンパクト・ヴィレッジ）」として 2016（平成 28）年に整備された。新鮮な野菜や加工品の直売所のほか、地域の食材を用いた料理を楽しむことができるレストランが併設されている。
金持テラスひの	日野町根雨	多くの景観資源が集積する根雨地域に位置する賑わいと観光の拠点施設。金持神社の分祠が設置され、金運・開運を祈願できるほか、特産品売場では、新鮮な野菜・加工品や特色ある土産物などを購入することができる。
根雨宿内の店舗等	日野町根雨	宿場町やたたら製鉄の経営で発展したまちなみの中で、元本陣宿であった老舗お茶店で和菓子と抹茶が楽しめ、近藤家向かいの出店近藤（日野町公舎）では、たたら歴史等を学ぶことができる。宿内にはそば、定食等を提供する飲食店が多数ある。

道の駅奥大山	江府町 佐川	国道 181 号沿い、米子自動車道江府インターチェンジのそばに 2015（平成 27）年に整備された。直売所で新鮮野菜が購入でき、物産館マルシェでは地域の加工品やオリジナル商品を販売。お食事処では地域の食材を用いた料理を楽しむことができる。
--------	-----------	--



ホームランド多里



金持テラスひの



根雨宿内のそば店



道の駅奥大山

景観資源等マップ

(凡例) 景観資源・ビューポイント : ● 滞留拠点 : ● 日野郡サイクリングルート : ●●●● 各町のサイクリングルート : ●●●●



- 金持テラスひの(日野町根雨)
- オシドリ観察小屋(日野町根雨)
- 黒坂カワコふれあい公園(日野町下菅)

道の駅奥大山(江府町佐川)

- 鍵掛峠(江府町大河原)
- 木谷沢溪流(江府町御机)
- 御機の茅葺小屋(江府町御机)
- 南大山観望展望駐車場(江府町宮市)
- 貝田の棚田(江府町貝田)

- 道の駅にちなん日野川の郷(日南町生山)
- 旧日野上小学校(日南町三栄)
- 樂樂福神社(日南町宮内)
- ホームランド多里(日南町多里)

- 根雨宿・日野町歴史民俗資料館(日野町根雨)
- 金持神社(日野町金持)
- 滝山公園(日野町中菅)
- 明地峠(日野町門谷)

- 石霞溪(日南町生山)
- 桜子峠(日南町丸山)
- 大石見神社(日南町上石見)

(3) 景観形成における現状と課題

ア 現状及び課題

本計画の対象地域には、日本の原風景とも言うべき四季折々の美しい自然景観や田園景観、集落・民家等の景観資源が多数存在するが、景観形成に係る指針がこれまで無かったこと等から、景観上好ましくない屋外広告物や、高彩度ののぼり旗、農業用資材などが散見されるほか、沿道景観もやや殺風景な箇所が散見される。

また、日野川や日野郡サイクリングルートでつながる日野郡3町が一体となって、優れた景観資源を地域の宝と捉え、更に磨き上げて交流人口の拡大や地域活性化に活かすといった視点が不足しているほか、景観形成活動に取り組む住民・民間団体等の掘り起こしや支援体制が不十分な状況にある。

なお、本計画の策定に際して、景観ワークショップを通じて地域住民や民間団体等の景観形成に係る現状や課題認識を拾い上げた主な意見は次のとおりで、ワークショップでは、単に沿線景観を向上させる視点にとどまらず、観光や景観を楽しむために日野郡を訪れた方々をどのようにもてなし、滞留していただくかといった観点の意見が多くあった。

<景観ワークショップにおける主な住民等意見>

日野郡サイクリングルート沿線に対する意見

- ・観光客やサイクリスト等を意識した休憩場所やビュースポットの整備が不十分
- ・空き店舗や観光客が訪れる神社等を活用した休憩施設やカフェ等の整備が望まれる
- ・道路舗装の改善を（車中心ではなく、人が迎え入れられていると感じるような道路整備を）
- ・景観に配慮した沿道を考える場合に、乱立するのぼり旗は不要
- ・3町を通過するルート設定は良いが現状の景観はあまり良くないのではないか
- ・景観面から見ても安全面から考えても現状は車優先すぎる（人優先でない）

その他の景観資源・ビュースポット・滞留拠点に対する意見

ホームランド多里（日南町）

- ・看板の発信内容が不十分かつ老朽化しており、リニューアルが望まれる
- ・入口正面の塀・壁は客を拒む雰囲気があるため撤去を
- ・水車の周りにベンチを置くなどしてくつろぐことができるスペースを整備

石霞溪（日南町）

- ・ゆっくりと景観を楽しんでいただくための環境整備が不十分
（散策コースの整備／近くに駐車場を設けて散策コースをPR／石仏への橋の整備／看板をわかりやすく整備／天気や見どころ、紅葉時期などのお知らせ／撮影スポットの整備／歩車分離対策／歩道確保の方策実施が必要）
- ・老朽化し汚れている看板は撤去
- ・座ってゆっくり景色を楽しめるスペースの整備が必要
- ・トイレの整備が必要

桜子峠（日南町）

- ・情報発信が不十分（見るべき時期や時間がわからない／道路看板などの案内が必要／ビュースポットや撮影場所の整備が必要／web 検索しても場所がわからない）

根雨宿（日野町）

- ・日野町歴史民俗資料館は眺望もいいが活用が不十分（玄関周りの整備／カフェの誘致／石垣を活かす方策の検討／汚れている箇所の対策／近寄りがたい／入りづらい／前庭の木は必要か）
- ・出店近藤（たたら楽校）は予約制ではなく常時見学可能な滞留拠点とすることが望まれる
- ・用水路のある美しい景観の活用が不十分
- ・根雨宿全体のまちなみ再生や街道沿いの空き地の活用が必要
- ・安全に歩きたいが、道が車中心で人は端に追いやられており、迎え入れられていると感じない

- ・景観を楽しみながらまち歩きする際に、休むところがない／わからない／ベンチが無い
- ・見どころが多くありそうだが、適切に情報が入手できない／入手先がわからない

黒坂カワコふれあい公園（日野町）

- ・ビュースポットとして本を読んで屋外でのんびりできるスペースがあるといい
- ・生垣の木が伸び放題で景観を阻害しており視認性も悪くなっている
- ・看板の説明が分かりづらく、内容の見直しや改修・撤去を含めた検討が必要

明地峠（日野町）

- ・景観を阻害している鉄塔を植樹等で見えないよう工夫してはどうか
- ・設置する看板は最小限としてデザインを工夫するとともに、不要なものは撤去
- ・ビューポイントとしての整備が不十分（雑木を切って景観向上／駐車場を移動して展望台を拡張／ゆっくりと楽しむためのベンチ等の整備／どう眺望すればいいか、どの方向・角度がいいかわからない／雲海が有名だがいつ見えるかわからない）

道の駅奥大山（江府町）

- ・バス停が見通しを阻害し、スペースがもったいないため移設の検討を
- ・屋外でくつろげるスペースの充実／不要な什器・備品の整理

貝田の棚田（江府町）

- ・PRが不十分（景観の素晴らしさ／戦前の集落住民の想いで景観を守ったエピソードの発信／季節ごとの景観の発信）
- ・景観を楽しみながらゆっくりできる場所やベンチの整備
- ・どこから見るべきか、撮影はどこですべきかなど整理し発信を

南大山観峰展望駐車場等（江府町）

- ・立入禁止となっている区域をビューポイントとして活用すべき
- ・ビュースポットとしての整備が不十分（除草／ベンチの整備／周辺の日野郡3町の景観資源やお店・施設の案内を／ライトアップしてはどうか／看板が大きすぎるのではないかな）
- ・どこから見るべきか、撮影はどこですべきかなど整理し発信を



サイクリングルート沿線（白フェンス、のぼり旗）



石霞溪（歩行者の安全確保）



日野町歴史民俗資料館（雑然として近寄り難い）



南大山観峰展望駐車場（立入禁止エリア）

イ 景観に関する規制の状況

鳥取県景観形成条例及び鳥取県景観計画に基づき、一定規模以上の建築物の建築及び工作物の設置について県への届出を義務付けており、景観計画に定める景観形成基準（位置、外観及び色彩等）に適合する必要がある。

また、鳥取県屋外広告物条例では、日野郡サイクリングルート及び日野郡3町内サイクリングルート沿線が屋外広告物の設置に際して町の許可を要する地域に該当するが、色彩については一定規模以上の大型看板を除いて特段の制限がなく、小規模な自家用広告物等については許可不要である。

以上のように、県の広域的な景観形成に関する規制は、景観形成の主体が市町村であることや、経済活動等との調和を図る必要があること等から比較的緩やかなものとなっており、更に細かな規制を定める場合や規制を強める場合は、町に判断が委ねられている状況にある。

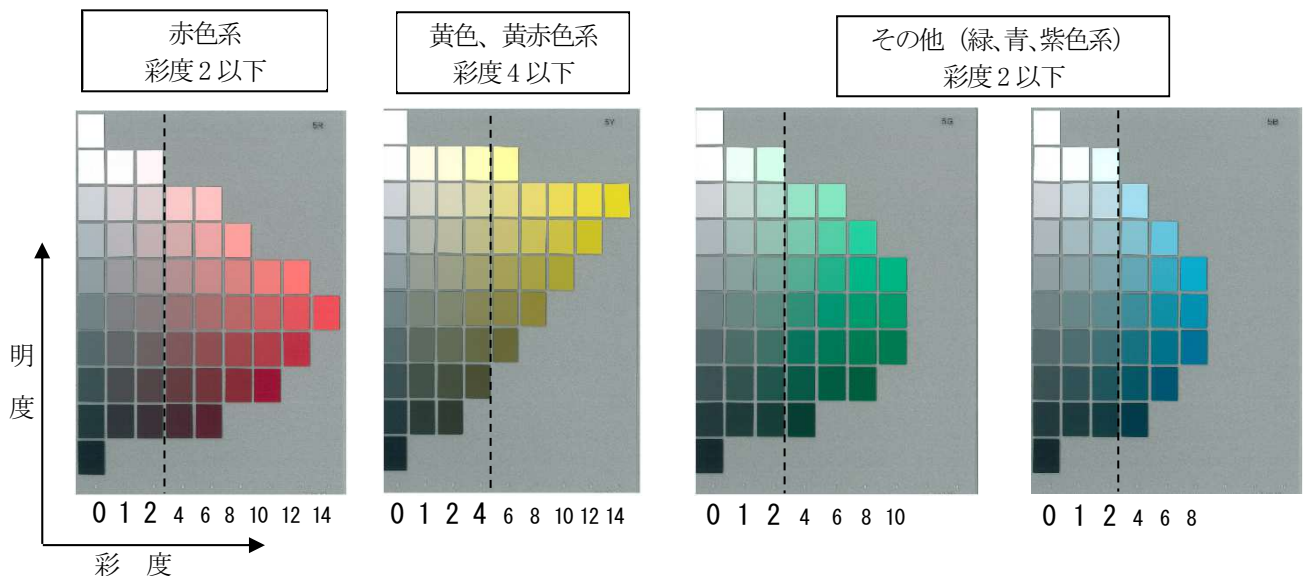
【景観法及び屋外広告物法に基づく規制基準】

規制法	規制主体	規制基準を定める規程	適用規模	主な基準								
景観法	県	鳥取県景観計画（景観形成基準）	<例：建築物の建築・工作物の設置> 高さ13m又は築造面積1,000㎡を超えるもの ※大山景観形成重点区域内では高さ5m又は延べ床面積が10㎡を超えるもの	外観のベースカラーは次のとおりとすること <table border="1"> <thead> <tr> <th>色相</th> <th>彩度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.1R～10R</td> <td>4以下</td> </tr> <tr> <td>0.1YR～5Y</td> <td>6以下</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>2以下</td> </tr> </tbody> </table>	色相	彩度	0.1R～10R	4以下	0.1YR～5Y	6以下	上記以外	2以下
色相	彩度											
0.1R～10R	4以下											
0.1YR～5Y	6以下											
上記以外	2以下											
屋外広告物法	町	鳥取県屋外広告物条例（一般的基準、許可基準）	<一般的基準のうち色彩基準が適用される規模> 高さ10mを超え、かつ表示面積30㎡を超えるもの	1面の表示面積の1/2を超えて彩度8以上の色を使用しないこと								

【鳥取県景観計画における景観形成基準（色彩）】

色相	彩度	
	景観計画区域	景観形成重点区域
赤色系 (R)	4	2
黄色系 (Y)、黄赤色 (YR)	6	4
その他 (G、B、P等)	2	2

<彩度のイメージ> 点線は景観形成重点区域における基準を示す（点線より左側の色が使用可能）



3 景観形成に係る取組方針及び内容

(1) 景観形成の取組コンセプト

本計画の策定目的は、日野郡の景観資源を整理し、保全し、磨き上げて更なる活用を図ることによって、交流人口の拡大や更なる地域活性化に繋げていくことであり、そのために必要となる具体的な取組を定めるため、また、今後の取組を進める際の指針として、次の2つのコンセプトを定める。

ア つなぐ

日野郡の景観資源は、豊かな自然、先人が築いた歴史・文化や、脈々と続く人々の暮らしの繋がりによって形づくられたものである。

また、日野郡3町は、古くから街道や日野川を介して結ばれており、現在もサイクリングルートの設定といった新たな取組によって更に繋がりを深めている。

日野郡3町の景観形成にあたっては、このような地域の歴史・文化等の背景をふまえた上で、新たな視点で沿線景観や景観資源を見直し、この先の時代にも日野郡らしい景観を繋いでいくことをコンセプトの一つとする。

イ つどう

日野郡3町の美しい景観をこの先も守り、育んでいくためには、ここに人々が集い、更に賑わいのある地域としていくことが重要であり、道路交通や公共交通のアクセスが良好である強みを活かし、癒しのエリアとして郡内外から人々が集う場所を目指していく視点が必要である。

そのため、観光を目的に訪れた方や、景観資源を楽しむため日野郡を訪れた方が集い、日野郡の景観や豊かな食を楽しむ場所となる「滞留拠点」の磨き上げに重点的に取り組むとともに、たたら製鉄のたたら場や、街道の宿場町に人々が集った往時に思いを馳せながら、人々が訪れたいくなる、集いいたいくなる地域づくりを二つ目のコンセプトとする。



(2) 景観形成におけるコンセプトカラー

県内で日本風景街道に登録されている「新因幡ライン」沿線のうち、八頭町及び若桜町では、景観形成行動計画に基づく取組において、ガードレール等の道路付属物や公共看板・民間の屋外広告物に対し、当地で「八頭ブラウン」の愛称で親しまれるダークブラウン色の活用を推奨し、誘導している。

このような先進事例を参考に、本計画でも日野郡の歴史的資源である「たたら製鉄」等をイメージしたコンセプトカラーを設定することとし、町が設置する看板等への採用を推奨するとともに、サイクリングルート沿線の道路付属物等への採用を目指すとともに、民間による屋外広告物等の誘導を図ることにより、地域内や沿線の景観を統一感のあるものとしていくことを目指す。

ア 基本コンセプトカラー（愛称：ひのブラウン）

鉄の表面が酸化して生じる錆を想起させる和の伝統色「さび色」と、伯備線を走る特急やくものボディカラーの中間色をイメージした色。

参考マンセル値:5YR 4/4

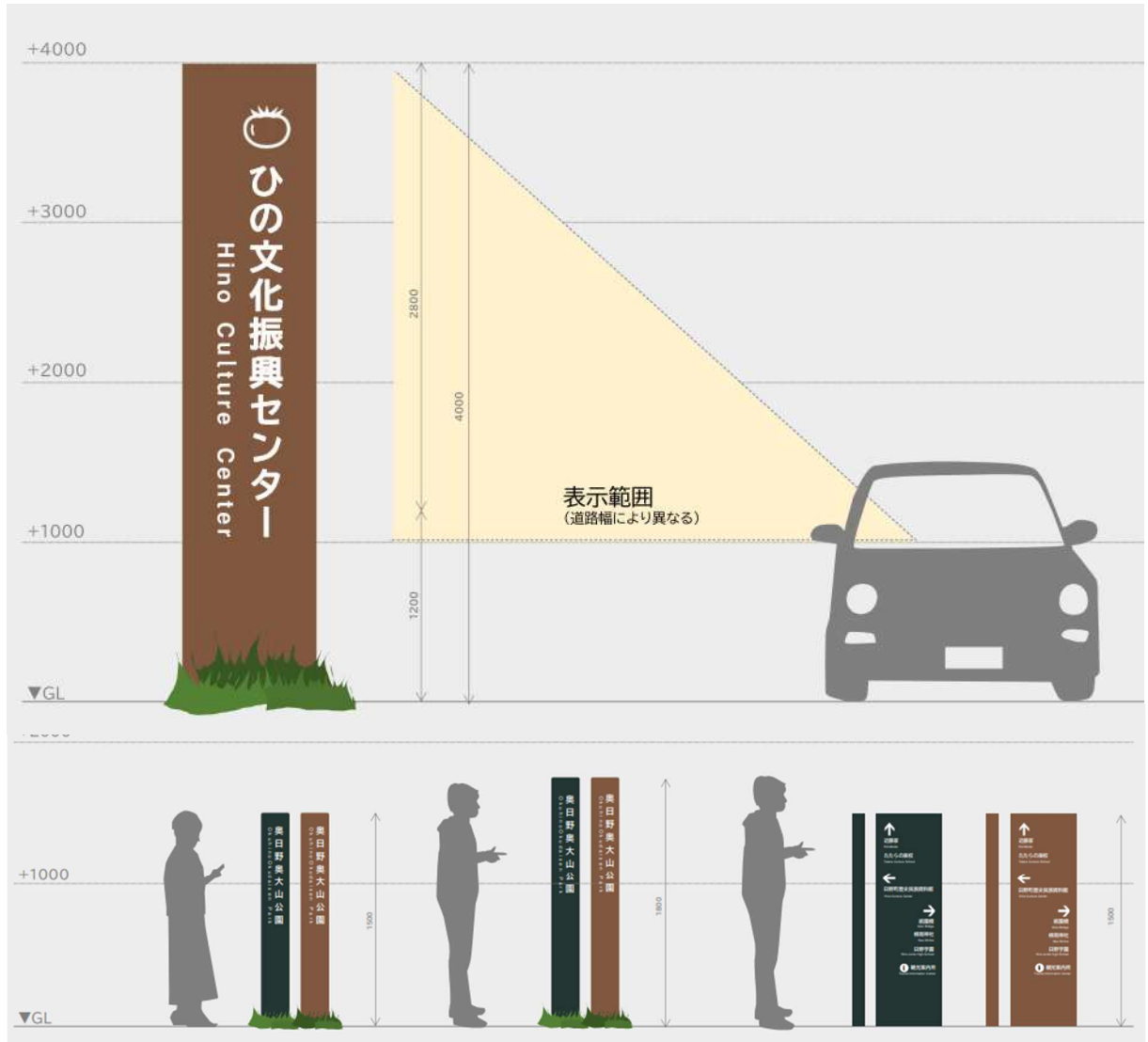
イ サブコンセプトカラー（愛称：ひのブルー）

くろがね（黒鉄）を想起させる和の伝統色「鉄色」。基本コンセプトカラーのブラウン色の採用がそぐわない場面の使用を想定して設定。

参考マンセル値:2.5BG 2.5/2.5

なお、屋外広告物に使用する場合は、コンセプトカラーを地色に用い、文字は白色（明度差5以上）で視認性に優れる角ゴシック系（和文：UD新ゴシック、欧文：Frutiger）とし、シンプルで機能的なデザインとすることを推奨していく。

<屋外広告物のイメージ>



(3) 道路・サイクリングルート沿道

自家用車や自転車で日野郡を訪れる観光客等を想定した場合において、沿道の景観が来訪客の印象に与える影響は非常に大きい。そのため、ガードレール、道路照明、道路案内標識等について、交通事故防止等の主たる目的を果たすことを前提として、沿道の景観に与える影響も十分に考慮していくことが重要である。

ア 道路附属物

ガードレール・ガードパイプや道路照明等を新設し、更新し又は改修する場合には「景観に配慮した道路附属物等ガイドライン（国土交通省／道路のデザインに関する検討委員会）を参照し、シンプルなデザインや最小限の設備、景観に配慮した色彩（ダークブラウン（10YR 2.0/1.0）が基本）の採用を基本とする。

また、今後のサイクリングルート整備にあたって誘導看板や矢羽根による道路面表示を設置する場合には、3(2)におけるコンセプトカラーの採用を基本としていく。

イ 沿道の除草、植栽管理等

特にサイクリスト目線の景観において、サイクリングルート近傍を日野川が流れているにも関わらず、草木が繁茂しているために水面が見えない箇所が多いため、優先度を勘案してモデル的に対策する範囲を検討した上で、道路又は河川管理者等と協議して日野川の見えるサイクリングルートの範囲の拡大に取り組んでいく。

また、県による鳥取版河川・道路ボランティア促進事業等の活用や鳥取県広域景観形成支援事業補助金による支援策の活用を検討し、沿道の環境美化や維持管理に住民の方々に積極的に参画していただき、地域の実情に応じた景観形成・環境保全を図るよう制度活用の働きかけに取り組んでいく。

ウ その他

沿道の道路附属物等に取り付ける横断幕やのぼり旗等は高彩度であることが多く、同じ内容ののぼり旗が乱立している箇所もあるなど、景観に悪影響を及ぼすケースがあることから、公共的な団体によるものを含めて設置に係る相談等があった際は、派手な色彩を避けることや、やむを得ず設置する際でも同じ内容ののぼり旗を乱立させないこと等を促していくとともに、既存の設置物や、県等に対しても同様の取組を依頼していく。

また、工事中等の道路仮設物についても、同様に沿道の景観が来訪客の印象に与える影響が大きいことを念頭に、交通安全上の支障とならないことを前提として関係者に配慮していただくよう周知していく。



(4) 屋外広告物

ア 公共設置による屋外広告物

町が設置する案内看板、観光看板、施設内看板等の屋外広告物については、台帳を整備した上で、チェックシートを用いて必要性、表示情報の正確性や改修・撤去の可否等を整理し年次的に景観形成に配慮した改修・撤去等を行う。

イ 民間による屋外広告物

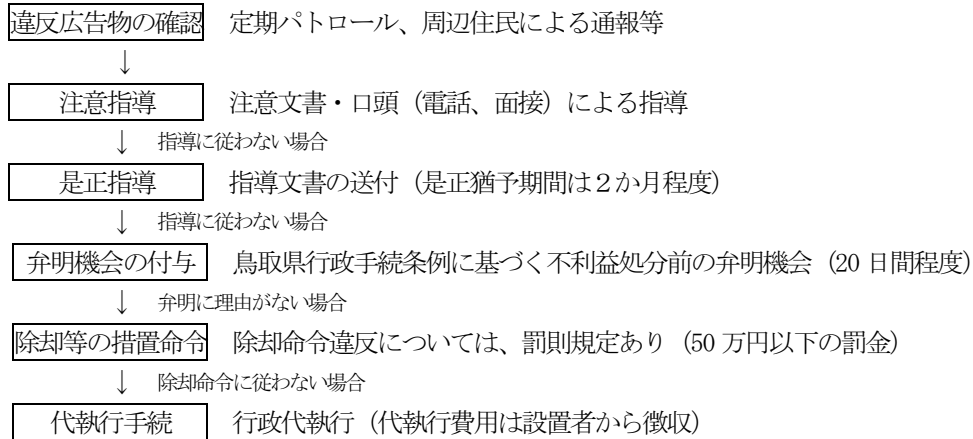
那須街道（那須町）や京都市では、区域を定めて広告物に使用する色を限定するなどして統一感のある景観を創り出しており、こうした事例を参考に県内でも八頭町においてコンビニ、郵便局などの事業者に対して景観形成の取組及びその意義について理解を求め、景観に配慮した広告物とされた事例があるほ

か、このような動きが民間に伝播し、民間の屋外広告物における景観配慮にも繋がっている。

本計画による取組も同様に、まずは公共による屋外広告物において取組を進めるとともに、地域貢献企業への働きかけ等を通じて民間へ取組が波及していくことを目指す。

また、鳥取県屋外広告物条例の規定に違反している広告物については、違反広告物の設置者に対して同条例に基づき違反広告物を是正するよう指導を行い、指導に従わない場合は同条例に基づき必要な措置の命令を行うほか、既に廃業された事業所等の看板が撤去されず放置されているケースがあることから、所有者等に対し撤去を促していく。

＜違反広告物の除却命令等の手続きフロー（鳥取県屋外広告物条例第8条）＞



公共看板（廃止済施設の表示が残置）



民間看板（廃業済店舗の看板が残置）



公共看板の景観配慮の例（若桜町）



民間看板の景観配慮の例（八頭・郵便局）

(5) 建築物・まちなみ・農村景観

ア 建築物・まちなみ

本計画の対象地域における建築物・工作物については、鳥取県景観計画に定める重点区域の景観形成基準に適合することを推奨して良好な景観形成に向けた誘導を図っていくこととし、住民・事業者等に対し、チラシや各町のホームページ等により協力を呼びかける。

特に根雨宿のようにまちなみ景観が形成されている地域においては、街なみ環境整備事業（国庫補助事業）や鳥取県とつとりの美しい街なみづくり補助金の活用も視野に、まちなみ景観の維持・保全に係る方策を検討していく。



根雨宿のまちなみ



景観に配慮したまちなみ整備の例（鳥取市鹿野町）

イ 農村景観等

道路・サイクリングルート沿道の農地等においては、道路景観と同様に自動車の運転者やサイクリストの視線を意識し、景観に与える影響を考慮していくことが重要であるため、農業用資材に多く見られる青色、緑色及び白色等の自然景観に馴染まない色彩をできる限り排除していくことが望ましい。

前述の八頭町では、町内に広がる花御所柿畑の景観形成の一環として、よく目立つ青色の防風ネットを黒色の防風ネットに更新することを推奨し、鳥取県広域景観形成支援事業補助金を活用した町独自の補助制度により町民に協力を働きかけ、取組を支援している。

日野郡においても、このような先進事例を参考に、自然景観に馴染む農業用資材の活用を推奨するとともに、一定の支援を要すると考えられる取組に対しては、支援策等を検討していく。

また、景観そのものは人の見目で評価されるものではあるが、その成り立ちは地域に暮らす方々の営みの積み重ねによるものであるため、人口減少や少子高齢化を背景に増加する空き家や耕作放棄地の対策についても関係各所と連携して取り組んでいく。



棚田景観とブルーシート



柿防風ネットの景観配慮事例（八頭町）

(6) 景観資源及びビューポイント

2 (2) アに掲げる主な景観資源及びビューポイントのうち、特に対策を優先すべきと考えられる箇所については、景観ワークショップにおける地域住民や民間団体等の意見(2 (3) アに掲載)も参考にしながら、モデル的に景観形成に係る対策を検討する。

石霞溪(日南町)

- ・景観ワークショップにおいては、景観を楽しむための環境整備が不十分との意見が多数。
- ・関係団体や有識者の意見も伺いながら、現地調査を行った上で安全かつ快適に来訪者が景観を楽しめるよう対策を要する事項を整理し、年次計画的な取組を検討していく。

根雨宿(日野町)

- ・旧根雨公会堂については、景観ワークショップの意見を参考に現地調査し、維持管理内容の見直しや景観改善の取組を検討する。
- ・根雨宿全体のまちなみ再生、まち歩きコースの発信等については、活用可能な国・県の支援制度等を整理するとともに、改めて町民の意見を伺いながら実証実験やモデル的な取組を検討する。

南大山観望展望駐車場(江府町)

- ・立入禁止となっている区域について管理者と協議し、ビューポイントとしての活用等の再開や、立入禁止措置を解除するよう検討する。
- ・景観ワークショップにおける再整備の必要性や眺望・撮影箇所の案内等については改めて現地調査し、必要な対策を整理した上で年次計画的な取組を検討していく。



根雨宿まち歩きワークショップ (R7)



景観の支障となる樹木の伐採による眺望改善事例(若桜町・つく米棚田)

(7) 滞留拠点

2 (2) イに掲げる主な滞留拠点のうち、下表の3箇所についてワークショップを開催し、地域住民や民間団体等の意見・アイデアを整理した。当該意見等を参考に、管理者や地域住民と更に協議検討し、有識者等の意見も伺いながら今後のモデル的な対策・取組を検討する。

<景観ワークショップにおける主な住民等意見>

ホームランド多里(日南町)

看板	・魅力を伝える的確な内容への見直し、サイズダウン、撤去の検討 ・広島側から来る方に向けて食事処・直売所のPR看板を設置
外部空間	・閉鎖的な玄関廻りの改修 ・立ち寄り率や滞在時間の向上を図るよう空間の再整備を検討してはどうか
店内等	・店内レイアウトや設えの点検、より魅力的な空間づくりの検討 ・商品の陳列形態や商品紹介ポップ等の工夫

根雨宿(日野町)

まちなみ	・宿内に休憩できる場所がなく、あってもわかりづらい状況の改善 ・根雨神社～日野町歴史民俗資料館の通りを重点エリアとしてモデル的なまちなみ整備を検討するなど、美しい水路や伝統的な建物を活かすまちづくり
------	--

店舗等	<ul style="list-style-type: none"> ・宿内の店舗、飲食店をPRする方策の検討 ・若者が行きたくなるお店やカフェ等の誘致策の検討 ・空き地の活用や米蔵や銀行跡のアートの拠点としての活用
-----	---

道の駅奥大山（江府町）

外部空間	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停が見通しを障害し、スペースがもたないため移設の検討を ・屋外でくつろげるスペースの充実
店内等	<ul style="list-style-type: none"> ・レストランの魅力的なメニューを更にわかりやすくPR ・直売所と道の駅の役割分担をしながらより効果的な連携を検討

4 行動計画

(1) 推進体制

行動計画の実行にあたっては、日野郡3町が各々の取組を進めるとともに、日野郡全体としてのまとまりを意識して情報共有し、連携していくことを基本とする。

また、令和8年度から、行動計画の策定にあたり組織した策定委員会を鳥取県日野郡連携会議「観光・交流ワーキンググループ」に移行し、公共サイン計画の作成や景観資源等の具体的な整備の検討など、本行動計画に定める取組が着実に進むよう進捗管理を行うとともに、必要に応じて、有識者に意見や助言を求めていく。

特に、景観資源等の個々の整備にあたっては、コンセプトやデザイン等のわずかな違いが、景観に与える影響や訪れる人々に与える印象を大きく左右することから、デザインや設計の重要性に留意し、専門家に相談・依頼するなど、的確な投資となるよう慎重かつ丁寧に検討を行う必要がある。

なお、施設利用者の視点や住民の意向を反映させるためのワークショップ等については、今後も必要に応じて開催し、民間団体とも連携しながら取り組んでいくこととする。

(2) 取組スケジュール

	短期（～2027（R9））	中期（～2029（R11））	長期（2030（R12）～）
道路・サイクリングルート沿道	<ul style="list-style-type: none"> サイクリングルート案内標識等の設置検討 日野川沿いの草木の整除範囲検討・対応 	<ul style="list-style-type: none"> 沿道の環境美化等に取り組む住民団体等の育成 沿道ののぼり旗設置者に対する取組の周知・働きかけ 	
屋外広告物	<ul style="list-style-type: none"> 町設置看板の台帳整備・チェック・撤去・改修 民間補助制度の創設 	<ul style="list-style-type: none"> 地域団体・民間事業者への取組の周知、働きかけ 廃業した事業者への看板撤去指導 	
建築物・まちなみ・農村景観		<ul style="list-style-type: none"> 建築物等への景観形成基準への適合推奨 根雨宿等における街なみ環境整備事業の検討 自然景観に馴染む農業用資材の活用の推奨 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家・耕作放棄地対策の検討・対応
景観資源 ビューポイント 滞留拠点	<ul style="list-style-type: none"> 景観資源・ビューポイント：現地調査・対応策検討・具体的景観整備 ホームランド多里：現地調査・対応策検討・具体的景観整備 	<ul style="list-style-type: none"> 根雨宿：現地調査・住民グループヒアリング・対応策検討 	<ul style="list-style-type: none"> その他滞留拠点：現地調査・磨き上げ対応策検討・具体的対応

(3) 住民・民間団体等の取組誘導及び支援

鳥取県広域景観形成支援事業では、住民・団体等が行動計画の内容に沿って行う活動への助成（市町村を介した間接補助）をメニューの一つとして掲げており、本計画に沿った住民・団体等の活動が助成の対象となるため、日野郡3町でも支援制度の創設を検討し、住民・団体等の活動支援を行っていく。

<支援の対象となる活動例>

- ・民間による屋外広告物及び建築物・工作物の改修等（例：コンセプトカラーによる看板への更新）
- ・沿道の植栽管理・美化活動
- ・農村景観の改善（例：防風ネットを青色から黒色又は茶系色のものへ交換）

(4) 広報及び情報発信等

景観形成に係る取組においては、町民の理解が不可欠であることから、行動計画の策定時や計画の実行の際には、町ホームページ、広報誌、SNS等により幅広く周知していくとともに、様々な機会を通じて各町内で地域づくり活動に取り組む団体や町民と対話し、情報提供し、地道に協力を働きかけていく。

更に、日野郡に人々が集い、更に賑わいのある地域としていくため、訪日観光客を含めて、道路や公共交通を利用して日野郡を訪れる方を意識したPR活動を展開し、個々の景観資源や滞留拠点の情報だけでなく、日野郡を巡るコースや、モデルコースを設定して発信するなどして、人々が訪れたいくなる、集めたいくなる地域づくりを図っていく。

また、国土交通省による「日本風景街道」制度については、登録によるPR効果や、近隣地域等との交流や他の登録団体等との情報交換を図ることができる等のメリットがあるため、今後の状況に応じて取組を検討していく。

日野郡景観形成行動計画策定委員会

日南町（環境エネルギー課、地域づくり推進課）

日野町（企画政策課、産業振興課）

江府町（総務課）

鳥取県（生活環境部くらしの安心局まちづくり課）

（西部総合事務所日野振興センター日野振興局・日野県土整備局）